

## 第2回有田グランドデザイン検討委員会議事録

本日の議題	内山通りのにぎわいづくりについて
日 時	令和3年3月12日(金) 14時00分～16時10分
場 所	有田町役場第4・5会議室
参 加 者	【委員12名】今泉今右衛門 深川祐次 百田憲由 大坪康敏 篠原祐美子上野菜穂子 清水耕一郎 松岡恭子(オンライン) 馬場正尊(オンライン) 浜野貴晴 宮原真美子 松尾佳昭 【事務局4名】木寺寿 鷲尾佳英 村上伸之 山口睦
資 料	1・2・3・4

### 内 容

	検討部会アンケート・インタビュー(志賀) <u>資料1-1</u>
	内山地区人口・世帯数・事業所数の推移(清水) <u>資料1-2</u>
清水	地区全体ここ20年くらい人口減少度が特におおきい。最初の外見というところでご意見をお願いしたい。
浜野	今回選んだ11名からは非常に熱量を感じた。こうあってほしいと言うのを語ってもらって私としてはほっとしている。アンケートでまとめたところ、30代と言うところで皆さん必ずしも住んでいるわけではなくて、ここに住むことによって町に流動性や活気が生まれてくることなので、住むためにどうしたらいいか？仕事と教育が重要な視点ではないか。重伝建指定と言う事で観光的な視点ですが、そこには住む人がいて町として成立している。来外者の視点と言うよりは居住者の視点で考えて発表をまとめる事が重要ではないかと思います。そこに住んでいる人が生活環境・教育・仕事が成立されない限りは、外来者が来る場として人を呼ぶ様な前段階での活気づくりが求められている。住みたい人はけっこういる。しかし、ファミリー的な家がない。情報がない。マッチングがない。外から住みたいと言う人を呼び込む方策があるのでと思う。
大坪	居住者の視点に立つ事は大事な事で住んでいる人が生き生きしてないといけない。これからの30代40代人口増につながるような事をターゲットにする。安心安全も平行して考える。
上野	住んでいる人達が前向きな気持ちになれると言うところを見せていく事がそこで事業を起こしたいとか店を持ちたいと言う人を増やしてい

---

く事になるのかなと思っている。空き店舗活用のイベントはいろんな人を呼び込み雰囲気を感じてもらおう手段として活動している。

清水 反応はどうですか？

上野 出店者の方は、「すごくいい街だね」と言われる。そういう場を提供できる事で有田のファンを増やせる事では貢献できたかなと思う。不便な事だけではないと言う事を内山に住んでいる人達が発信していく事が大事。

(1) 空店舗対策 (清水) 資料2

清水 歩いて見ると閉まっている店ばかりという印象が強い。見た印象より通年 39%はある方だと思う。それは凄く大事な事だと思う。空き家だけみると陶器市の時だけ使われるというのを加えると 70%、空き家だけみると 45%となる。多い数値となる。

深川 家賃収入が陶器市の収入なので一般の人には貸せない。逆もある。出店したいが家賃が高い問題もある。近年歯抜け状態でもある。貸したいが借りる人がいない。今年は登録制なので調査するのによいと思う。

清水 陶器市の今年の状況が見えない。

深川 国道沿いを離れると空き家はありますが調査はされますか？

清水 必要かなと思います。

百田 空き家は年間通じて活用する方法があれば違った考え方が出てくると思う。駐車場問題は満遍無くある事に驚いた。これを普段も活用できるような状況を作ることによって町に賑わいができる。

篠原 固定資産税とかで陶器市の時期がずれていたらいいのに思う。

通年で貸した方がより良いと言うメリットがあればいい。

馬場 調査でリアルにデーターを突きつけられるとインパクトが大きい。空き家はあるけど空き物件になっていない。空き家対策有田の内山ルールを設定して積極的に空き家を貸して、陶器市の時は店先を貸し賃貸料はオーナーに払うので他の月は格安で貸す。空き物件は不完全なままで貸すとクレームとなるので修繕するのにお金がかかる。信用できる所が借りて第三者に貸すとか空き家を空き物件にする仕組みがいるのではと思う。

清水 サブリースするということですか？安い家賃で借りて修繕費をして貸物件とするということですね。

- 馬場 空き物件の水回りの修繕に補助金がでたら助かる。公金が出たらアクセルがかかると思う。
- 清水 水回りを公共にですか
- 馬場 観光客にトイレを貸す事です。
- 今泉 住む為の空き家の対策、住む人が空き家をどうしていく事ができるか。駐車場の問題は観光客には十分にある。しかし住む人には何らかの考えが必要。
- 清水 駐車場は空き地で誘導されていないので観光客は入って行かない。持ち主と話し合いながらオープンにする事が大事。表示、案内、誘導があれば解決する。裏通りの駐車場はシェアできるかが問題です。
- 深川 空き家はあるが買えないとは？
- 清水 流通していない。買える空き家がない。全国的な問題です。
- 深川 空き地もですか？駐車場として使用できるかどうか。
- 清水 事故があったらオーナーにリスクがありますね。
- 松岡 情報には集める・提供・発信がある。情報を集める対象は 2600 人くらいの世帯数は半分としてアンケートを取ると仮定する。集う場所やチャレンジの場所、子育ての役に立つのが欲しいとか要望があると思う。それは、通年必要か、週 1 回なのか、夏休みだけなのか色々あるだろう。つまり、空き家の使い方は色々あって表は貸すが裏は貸したくない、とか色々なバリエーションがある。1000 所帯ならアンケートとれるのではと思っている。それが、内山地区の関心事になっていく情報デザインがステップとしてあるのでは、駐車場には素敵なサインが統一して、それを町長が全国発信する。
- (2) 電線地中化エリアの景観整備 (多久島) 資料 3
- 清水 伝建の外観を見て凄いなと言われるがどこも入れない。一番の問題は伝建指定されているがそれが観光に結びつかない。
- 篠原 伝建ですが QR コードを作ってアプリを使って建物の説明が見れたらいいと思う。
- 清水 何年ごろできたか気になりますよね。  
電線地中化について何かありますか。
- 浜野 変圧機の位置は？
- 多久島 公的な所で考えてますが、一部民地でも考えてます。赤の所は位置は確

定しています。

深川 ボックスの色など景観の問題もあります。

清水 わりと奥に引っ込んでいるのですか？

多久島 通りから入ったところの路地などに設置予定

今泉 きれいになったから観光客が増えるものではない。この街の魅力を伝え伝建を整備する事の大切さは何であるかを住民に伝えていく事が重要ではないかと思う。

清水 伝建に住んでいる人の意識を啓発できるようなことはしなければいけない。

松岡 伝建が30年続くとは地元の方がされてますか？

清水 決まった作業チームではないけれど、全部地元です。

松岡 この大工さんや左官さんにしてもらっていると言う情報を発信するのもいいのでは？伝建のファンを増やしていくと言うことです。

宮原 観光と言うより内側の視点で産業ではないのか、生活は住居で産業を店舗部分と考えております。パーキングはアプリになったら楽だろうと思います。空き家は店舗者と居住者がシェアするイメージでシェアハウスにできないか。

---

(3) 観光施設の活用整備 資料4

観光事業の現状・課題 (山口)

公共施設の概要、活用状況、課題 (鷺尾・村上)

清水 観光協会が出来てから10年の間に様々なイベントが増え今はインバウンドで韓国・中国との関係が悪化しコロナで激減した。アフターコロナの観光のあり方を早急に模索しなければならない。

浜野 コロナで人が呼べないから、産業ベースでネットで売ると考えると有田に来る必要はない。ならば有田に来ないと出来ない体験とか、ここで見られないとか、考える必要がある。焼き物を売ると言う視点の観光集客に力を入れ過ぎていないか。焼き物の文化的な視点で体験とかでここでしか出来ない集客を考えるべきではないか。

宮原 空間の緊張感が有田らしい、地元の方の沢山の知識を活用する場があればいいと思う。

今泉 有田の魅力は沢山ある。一つ一つ丁寧に見ていく事が大事。

深川 以前、ろくろ座と赤絵座が離れているので体験型として集約した方が

---

いいのではという意見があった。しかし、町の散策をしてもらう為に離れた経緯がある。

宮原 体験施設は都会でもできる。体験は実際動いている工場でした方が観光の価値が高い気がする。観光客の目線で小さいスペースでも十分ではないかと思う。

深川 観光客の目線では一か所に集約した方がいいですか？

宮原 ただ作るのを学ぶものではなく、何をどのように作るのかというデザインが有田では色んな場所で学べるのではないか。

清水 その町に合った方で考える事でしょう。有田 1000 軒と言われた時代に町中美術館としての影があり施設が離れていた。ここへ来て体験する意味を考え、どう感じてもらえるか、どう説明するか、どうやってそれをお土産として持って帰ってもらうかということでしょう。まずは雰囲気づくりが大事で充実感を味わってもらいたい。

浜野 有田は観光地になる事が目的ではない。有田の価値が見出せる体験する事がいいのでは、物のできる過程を見れる工場見学だけでも面白いと思う。有田は5キロ圏内で陶石から焼き物までの過程が見られる。お客さんに見せることをセットにした仕組みを考えられないか。

松岡 観光全体の話だと、コロナで世界変わりましたので、オンラインとか壮大な事を考えなければいけない。

清水 観光施設をもうちょっと上手く活用していく必要がある。

町長 全体的な観光はコロナで止まっている。だから、今こそ観光の事も話す時である。公共施設の統廃合など難しい時代であると思います。空き家は特に内山地区は大きな問題かなと思う。提案でありました内山オリジナルルールを作って、次の展開が見える様な事ができないか。伝建30周年を契機に新たな次のステップで文化財としての発信をしたい。

木寺 旧有田町が全国過疎指定を受ける事になりました。昭和50年から平成27年までに人口減少率が23%以上になった。有田町財政力指数0.3との該当での視点で、旧芦刈町、旧巖木町、旧有田町の3町が指定に加わりました。過疎計画を令和3年度において計画策定をします。旧有田町の過去5年間の過疎進行率の調査となり、同時進行にての作業となります。

---

確認印
